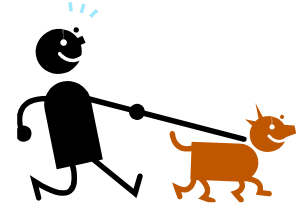




ふらり らいふらりい



～図書室にはこんな本があります～

No. 147

この夏、「戦争について調べよう!」といった宿題が出て困っている人はいませんか? 図書室では、そんな小学生の皆さんのために夏休み宿題コーナーを設けました。



「学童疎開」についてのワークシートを配布しています。

挑戦した小学生は、昭和館のクリアファイルと図書室オリジナル缶バッチ(1個)がもらえます。



これもらえるよ!
挑戦してみよう!



教科書で紹介されている戦時中の雑誌を展示しています。実際に手にとって読むことができますので、この機会にぜひご利用ください。



戦争を調べるために参考になる図書リストを配布しています。
(このリストは、当館のHPでダウンロードできます。)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。



おもだかや 澤瀉屋！

近年、歌舞伎が世界へ進出しています。その口火を切ったのは、やはり「市川猿之助」ではないでしょうか。そこで猿之助一門を調べてみました。

初代猿之助は安政2年(1855)、江戸浅草に立師(たちまわりの型を役者に教える人)の子として生まれました。五代目菊五郎に弟子入りしたのち、その才を九代目市川團十郎に見込まれ、門下となり山崎猿之助を名乗ります。やはり出る杭は打たれるもので、猿之助が座方(劇場の使用人)から頼まれ、断りきれず歌舞伎十八番(市川家で代々勤めてきた演目のひとつ)である「勸進帳」の弁慶を無断で演じたことで、市川家から破門されてしまいます。その後京阪を中心に旅興行を繰り返すなど辛酸をなめ、明治23年によく帰参がみとめられ、初代市川猿之助を名乗るようになりました。

その子は、明治43年に二代目猿之助を襲名しますが、早くから進取の気に富み、大正8年には欧米視察を行い、ロシアン・バレエに深い感銘を受けます。その技法は大正10年、創作舞踊『蟲』の振り付けに取り入れられ、大評判となりました。その後も伝統的な歌舞伎だけでなく、歌舞伎の旧体制に対しての『春秋座』の立ち上げ、水谷八重子ら新派との活動も精力的に行います。そして昭和38年、自らは「猿翁」と名乗り、孫の團子に猿之助を襲名させます。三代目猿之助、23歳のときでした。



二代目猿之助の「大天狗」

(昭和10年)

襲名からまもなく、祖父猿翁、父三代目市川段四郎も亡くなり、“劇界の孤児”といわれながらも猿之助は大活躍を始めます。二代目ゆかりの春秋座の自主公演、埋もれた歌舞伎古狂言の復活(それまでの演目のほとんどは人形浄瑠璃の演目を書き換えたもので、純粹に歌舞伎用に創作された演目を歌舞伎狂言という)、わかりやすい通し狂言(ひとつの演目を最初から最後まで上演すること。これまでは人気演目の名場面を二つ以上組み合わせての上演が多かった。)の実施等。更に三代目の魅力は、スピード、スペクタクル、ストーリーの3つからなる“3S”にあります。歌舞伎の技法を駆使しながら創作された、『ヤマトタケル』や『新・三国志』などのスーパー歌舞伎へとそれは発展してゆきます。

新しい芸に挑みつづける澤瀉屋(猿之助の屋号)が、これまで直系の血筋で世襲されてきたのはおもしろいことです。今年の6月5日、市川亀治郎さんが四代目猿之助を襲名しました。亀治郎さんは三代目の弟の長男、甥にあたります。型破りでスケールの大きな四代目となっていくことでしょう。(参考文献『世襲について 芸術・芸能編』361.63/Se87 閉架書棚)

—図書室から—

学生のみなさん、宿題はためずにコツコツやったほうがいいと思いますよ。

図書室の夏休み宿題コーナーを設置しました。ぜひご活用ください。

ぶらりらいぶらりい ~図書室にはこんな本があります~ NO. 147

2012年7月24日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1